



まちの話題



太神楽曲芸を披露する高橋翔馬さん



曲 ふるさと大使高橋翔馬さん 芸で笑顔をお届け

金ケ崎ふるさと大使の高橋翔馬さんは11月10日、永岡地区生涯教育センターで開催した福祉講演会で「太神楽曲芸」を披露しました。高橋翔馬さんは町内出身の太神楽師で関東を中心に活動。この日は、折り紙やけん玉、傘まわしなどのパフォーマンスを披露し会場を沸かせました。高橋さんは「地元で太神楽を見ることができてとてもうれしい。金ケ崎で披露することで少しでも地域の人たちに笑顔と元気を与えられたら」と話していました。

金ケ崎中継所でタスキをつなぐ4区岩淵慎矢選手(左)と5区李国斉選手(右)



大 日報駅伝金ケ崎チームが躍進 声援に応え4位入賞

第78回一関・盛岡間駅伝競走大会(通称「日報駅伝」)は11月23日、国道4号線をメインコースとして開催され、金ケ崎チームが一昨年の5位を上回り過去最高の4位入賞を果たしました。県内22チーム、区間93.4kmのコースで競われた本大会。第1区佐藤稜汰選手の区間1位の力走をはじめ、各選手が懸命にタスキをつなぎました。金ケ崎チームが2位通過した金ケ崎中継所には多くの町民が駆け付け、旗などを振り選手たちへ大きな声援を送りました。

若 金ケ崎高校で課外授業 手起業者から学ぶ

金ケ崎高校では11月15日、放課後活動の一環で若者促進授業が行われました。今年度7回目となるこの日は、町内出身の松田文登さん(㈱ヘラルボニー副代表)が講師として訪れ、起業するまでの経緯や仕事に対する思いを高校生に伝えました。高校生たちは若手起業家の話を熱心に聞き自分の将来の姿を考えました。



講師の松田さんの話を熱心に聞く生徒たち

生産者と笑顔で給食を楽しむ生徒たち



地 町内産食材100%の日給食 元食材を味わい笑顔

金ケ崎町内産食材100%の日給食は11月11日、町内の小中学校で提供され金ケ崎の安心安全でおいしい食材を児童生徒たちが味わいました。金ケ崎中学校では生産者らと会食が行われ、鈴木香桜さん(2年)は「地域の人たちが一生懸命作ってくれた食材を味わえて満足。とてもおいしかった」と話していました。

し 長志田老人クラブ め縄作りで地域の絆深める

長志田老人クラブでは11月27日、長志田公民館でしめ縄作りを行いました。昭和56年から始まったこの事業は毎年欠かさず行われ、材料も地域のものを使用して作られています。高橋義春会長は「みんなで集まることで地域の交流の輪が広がる。これからも毎年継続していきたい」と話していました。



完成したしめ縄を掲げる老人クラブの皆さん

完成した凧を上げ笑顔を見せる児童



大 三ヶ尻小学校で凧作り 衡村の凧作り名人に学ぶ

三ヶ尻小学校では11月25日、町の友好都市宮城県大衡村の「万葉おおひら天旗会」の皆さんを講師に招き、6年生17人が凧作りを楽しみました。児童たちは講師を「名人」と呼び、一から作る凧作りのノウハウを学びました。高橋玲央くんは「世界に一つだけの自分の凧ができ嬉しい。いっぱい上げて楽しみたい」と話していました。